

考古学の楽しさや面白さを伝えたい

2018年10月に開館から20年の節目を迎える鈴鹿市考古博物館。市内で出土した縄文土器や古墳時代の埴輪など充実した展示とさまざまな体験講座やイベントを通して、考古学の魅力をわかりやすく発信しています。

縄文時代から江戸時代まで 貴重な出土品を数多く展示

長い歴史と文化を誇る鈴鹿市。古くから交通の要衝として栄え、奈良時代には、令制国の国司が政務を執る国府と聖武天皇の勅命により造営された官営の寺院である国分寺が置かれました。現在河川の流域を中心に、市内だけで1300を超える遺跡が見つっています。

鈴鹿市国分町にある鈴鹿市考古博物館は、1998年に開館。国分寺跡の南に隣接して建てられた、考古学を専門とする博物館です。

館内は大きく分けて、常設展示室と特別展示室。「常設展示室」では、上箕田遺跡から出土した弓を持つ人や鹿が描かれた弥生土器の壺(市指定文化財)、史跡伊勢国府跡・伊勢国分寺跡から出土した瓦など、200点以上の出土品を展示しています。と話すのは、学芸員の吉田真由美さん。ほかにも縄文時代の土器や石斧、弥生時代の土器、銅鐸のレブリカ、古墳時代のガラス玉や勾玉、人や馬の形をした埴輪、奈良時代の硯、安土桃山時代の神戸城跡から出土した金箔付きの瓦といった、さまざまな時代の出土品を鑑賞できます。

また、発掘現場を復元したプロムナード、国府と国分寺のジオラマ、奈良時代の食卓の再現もあり、昔の人々の暮らしや文化を楽しく学べます。

考古学は楽しくて面白いもの。ぜひ当館で考古学の魅力に触れてみてください。



滑石でつくる勾玉作り体験。自分だけのオリジナル作品になるため、大人も子どもも夢中。



ロビーには、ワークショップで作れる作品の見本が展示されています。

鈴鹿市考古博物館

鈴鹿市国分町224
開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日:月、第3火(祝日の場合は開館)、祝日の翌平日、年末年始
観覧料:200円(小・中学生は100円)
TEL 059-374-1994
<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/museum/>

速報展「発掘された鈴鹿2017」

期間:3月10日(土)~6月17日(日)

「狩って みがいて 燃やして こねて 今年のゴールデンウィークも考古博物館へ行こう!!」

期間:4月28日(土)~5月6日(日) ※5月1日・2日を除く

開館20周年記念特別展「三重のほにわ大集合!」

期間:7月14日(土)~9月30日(日)

※日替わり体験などの内容は広報やチラシ、公式サイトでご確認ください



学芸員 吉田真由美さん



教育普及担当 樋元久展さん

大昔の手作業を体験できる ワークショップを開催

子どもから大人までが楽しめる考古学に関連した体験講座も数多く開催されています。縄文時代から飛鳥時代にかけてのアクセサリー「勾玉作り体験」では、サンドペーパーを使って滑石を磨き上げ、自分だけの勾玉を作ります。また、粘土やへらを使用して弥生時代の笛を作る「土笛作り体験」、江戸時代のまじり器で行う「火起こし体験」などを土曜・日曜・祝日に開催しています。大型連休や夏休みには毎日開催されるほか草木染めやカゴ作り、発泡スチロールを使った古墳模型作りなど、日替わり講座も充実。つるカゴ作りやとんぼ玉作りなどは大人向けにも開催しています。

「実際に自分の手で大昔の人たちの日常を体験することで、歴史や考古学をもっと身近に感じていただけたいですね」と話すのは、教育



縄文土器や古墳時代の埴輪など、見どころ満点の常設展示室

普及担当の樋元久展さん。学校や公民館を中心に、歴史授業や体験講座の受け入れも積極的に行っています。昨年は来館や出前による授業で約30の学校や各種団体のべ1900人に歴史授業や勾玉作りを実施。遺跡や歴史を学ぶことの楽しさを伝えました。

ほかにも毎年秋のお月見ミュージアムコンサートや「国分の天神さん」として親しまれる菅原神社の梅まつりに合わせ、体験イベントを盛り込んだ春まつりも開催しています。



火起こし体験。上手に火を起せたら、火起こし名人認定証がもらえます

5月はイベントがたくさん! 20周年特別展も開催予定

現在は昨年の発掘調査で出土した遺物を紹介する速報展「発掘された鈴鹿2017」を特別展示室で開催中。磐城山遺跡から出土した古墳時代の石製紡錘車、須賀遺跡で見つかった弥生時代のものと思われる翡翠の勾玉、岡田南遺跡から出土した古墳時代の土師器の甕など、約140点が展示されています。

大型連休には、日替わりで草木染めや弓矢体験などを楽しめるイベント、7月中旬からは開館20周年を記念する特別展「三重のほにわ大集合!」が開催されます。

「考古学というと、難しい印象を持つ方もいらっしゃると思いますが、本来はもっと楽しくて面白いもの。ぜひ当館で、そんな考古学の魅力に触れてみてください」と、館長の豊田正人さん。研究と社会教育の2つの要素をマッチングさせ、地域の考古学熱を盛り上げていこうと意欲的です。

速報展のほか、本物の縄文土器や奈良時代の古代瓦に触れられる学習コーナー「考古ラボ」は無料で入場可。3階の展望デッキからは、史跡伊勢国分寺跡の全景を一望でき、壮観な眺めが楽しめます。さまざまな展示や体験講座を楽しみながら、この地で古昔に暮らしていた人たちの姿に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。